

ご挨拶

暑い夏、皆さんいかがお過ごしですか？熱いといえば、オリンピックでの選手の皆さんの熱い戦い、瞬きしたら見逃しそうなすごい技、ワクワクが止まりませんね。
和モダン水引協会でも、6月に資格試験があり、皆さん熱く取り組まれました。実技試験の結びには得点を付けてお戻ししますが、最高得点の結びを「ザベスト結び」としたところ、僅差の戦いとなりました。「今までなんとなく結んでいた水引ですが、試験を受けてからひとつひとつ注意をしながら結べるようになった」「水引の意味等水引についてもっと興味を持つようになった」等、感想を寄せていただきました。次の目標に向けて、また楽しみながら一緒に練習していきましょう。

【お知らせ】

今回級の認定を受けられ会員になられた方を含めた作品展を
10/8（金）～10/11（月）に開催いたします。

お時間ございましたら、ぜひお誘い合わせの上、お運びください。

Topics1 6/6 6/9 資格試験 in Tokyo

今回行われたのは、初級試験と中級試験。各級ともに、筆記試験と実技試験があり、皆さん、少し張り詰めた空気の中、真剣に試験に取り組まれていました。

資格試験は、もちろん資格取得のためではありますが、身に着けた技術を再度確認するいい機会にもなります。試験後に改善箇所へのアドバイスがもらえるプチ講習もありますので、技術を磨くためのステップとしても、ぜひ挑戦してみてください。

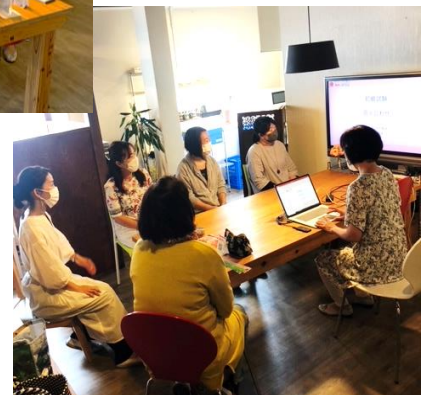
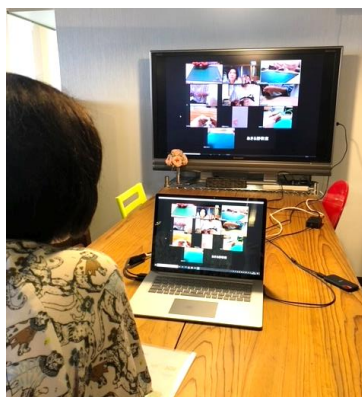
【お知らせ】

次回の試験日程は

1/23（日） 1/30（日）
を予定しています。



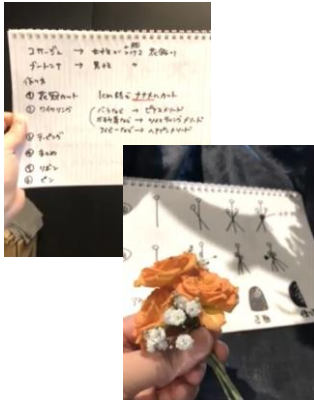
試験後の講習会の様子



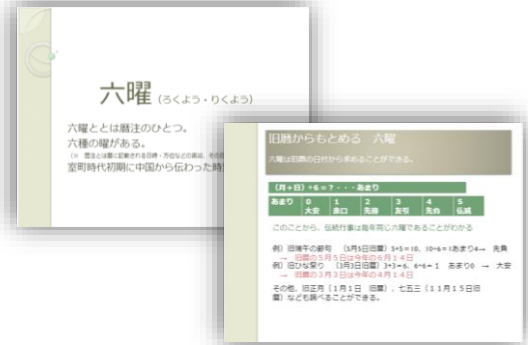
オンラインの試験の様子

Topics2 大使勉強会をやっています

水引の作品作りや講師としての幅が広がっていくことを目的として、現在、大使の皆さんで、様々なプチ勉強会を行っています。水引の作品作りに役立つワイヤリングを学ぶためのブーケ・ブートニア作りや、結びのプチ講座、水引の学びにも繋がる知識講座など。講師は大使が持ち回りで担当しています。



▲ ワイヤリングを学ぶブートニアづくり



▲ 知識講座の様子（六曜について）

水引こぼればなし 日本の伝統的配色法「かさねの色目」

「かさねの色目」とは、日本の四季折々の自然の色合いを重ね合わせた日本の美意識を象徴する文化の一つと言えます。代表的な「かさねの色目」と言えば十二単のような重ね着ですが、主に3種類の色彩の「かさね」コーディネートで、古来から日本人は、四季の「色目」を暮らしの中で楽しんでいました。

かさね 重色目 (合色目)

表の色と裏の色の
組み合わせ



かさね 襲色目

重なる色彩の
グラデーションを
楽しむもの



織りによる かさね色目

反物の縦糸と横糸の
色を変え、玉虫色の
色彩を楽しむもの



東京オリンピックの装飾に使用されているベースとなる色「コアグラフィックス」でも、日本らしさを演出するため、「かさねの色目」が用いられています。ぜひ、サイトで検索してみてください。

検索 **コアグラフィックス** **オリンピック**

編集後記

「水引こぼればなし」は、前回に続き日本の伝統的な色のお話でした。私も、四季の「かさねの色目」を意識した作品を作りたいと思います。グラデーションを作るのに、「淡い色の水引が欲しい！」と思うことがあり、ブルーベリーや赤紫蘇での染めに、挑戦中です。（小笠原）

